

笑顔いっぱい



広島中央保健生活協同組合 総合病院 福島生協病院

春号
(第41号)

発行日/平成26年4月1日

発行・編集

福島生協病院編集委員会
広島市西区都町42番7号
TEL082-292-3171(代)

ホームページアドレス

<http://www.hch.coop/fukushima/>

「めまい」について

耳鼻科にめまいの新しい検査機器が入りました。
今回はめまいについてお話ししましょう。

〔めまいとその原因〕

めまいとは、ぐるぐる回る感じ、揺れたりふわふわする感じ、歩くときのふらつき、意識が遠のくような感じなど、さまざまな不安定感のことです。ひどいめまいがするときは、起きたり立ったりできなくなり、吐き気もしてきます。

めまいがおこると多くの患者さんが脳の病気を心配されますが、めまいの原因としては脳の他に、耳の奥（内耳）にある動きの感覚器や自律神経の異常があります。そのうちで内耳に原因がある場合がもっとも多いのです。ですから、めまいで内科や脳外科にかかっても検査に異常がないと、耳鼻科に行くよう勧められます。

〔めまいと目の動き〕

めまいがしているときに、眼球が動いていることがあります。ちょうど電車に乗って外を眺めているときに似たリズムカルな動きで、眼振と呼びます。眼振は、めまいの原因や程度を知るために大切な症候です。

〔赤外線カメラで目の動きを観察する検査〕

これまで眼振を見るときは、患者さんの目もとを明るく照らし、レンズで拡大して見ていました。新しい機器を使うと目は完全に覆われて真っ暗になり、患者さんは何も見えません。目の動きは赤外線カメラで映して、テレビ画面で見ます。明るいときは物を見つめようとして眼振が抑えられるのですが、真っ暗だと眼振が出やすくなります。異常な眼振が見つかる頻度は2～3倍になり、めまいの診断がしやすくなるのです。

〔高齢者におこりやすい頭位めまい症〕

内耳が原因で起こるめまいのうち、最も多いのが良性発作性頭位めまい症です。典型的な症状は、「朝起きたら、あるいは夜中にトイレにいこうと起き上がったら、ぐるぐるとひどいめまいがしたけれど、すぐにおさまった。」という状態です。1回のめまいは数秒から数十秒で落ちつきます。しかし、夜に寝ようと横になったときや翌朝起きるときに再びめまいがしたり、前かがみから頭を上げたときにめまいがしたりなど、めまいをくりかえします。

内耳にある動きの感覚器には、砂（耳石）の動きを感覚細胞が感じる場所があります。高齢者では感覚器から耳石はずれやすくなっており、耳石はずれると内耳の中で異常な動きをします。すると、頭を動かした時にめまいが起こるのです。また、長く寝たきりでいたあとや、頭を打ったあとにも頭位めまい症がおこりやすいです。

頭位めまい症の治療として、耳石を今あるところから動かして、もともとあった場所に戻すようにする方法が有効です。当科では、耳石を戻すように寝返りする治療をおこなっています。ご家庭でも積極的に頭や姿勢を動かすことが大切です。



福島生協病院
耳鼻咽喉科科長
川真田 智子



▲画面に眼が大きく映り、眼の動きがよくわかります。

チームケア推進事業報告会と「西区あんしんネット」について

福島生協病院 地域医療連携室科長 東 祥子

医療介護の連携に基づくカンファレンスの実施などを行い、退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応や看取りの時の連携の課題を明らかにするとともに、その改善策を検討する、「チームケア推進モデル事業」に参加し、1月16日（木）、カンファレンスの実施報告会を、生協けんこうプラザで開催し、56名のご参加をいただきました。



11月から12月末までの開催したカンファレンス41件から、カンファレンスの目的、入院時の連携シートの必要性、支援が必要となる困難事例、カンファレンスからの退院支援、カンファレンスの取り組んでの効果を報告させていただきました。事例検討会では、在宅主治医、ケアマネージャーからの在宅での現状報告を交えながら、意見交換が行われ、多職種連携の必要性を感じる報告会になりました。



患者様、ご家族のそれぞれの思いや役割を明確にすること、介護家族の安心感を高めること、退院に関わる人の顔の見える関係づくりに取り組むこと、退院に向けての患者様本人の意欲を向上させるような関わりをもつことなど、目標・課題ができました。

検討会のアンケート集計から これからの在宅連携についてのご意見

●看護師

各病院の相談室の方と顔なじみになる会が今後もあるとよいと思いました。あんしんネットの今後の進行状況を随時教えて欲しいです

●ケアマネージャー

多職種が連携して在宅生活を支えるシステムが進んで欲しい

●社会福祉士

ケアマネージャー、在宅医との連絡を密に取ってほしいと思います

●理学療法士

独居や老老介護の世帯が増えていく中、担当者会議は非常に重要だと思います。医師を交えながら、積極的に情報共有していきたいです。

などのご意見をいただきました。

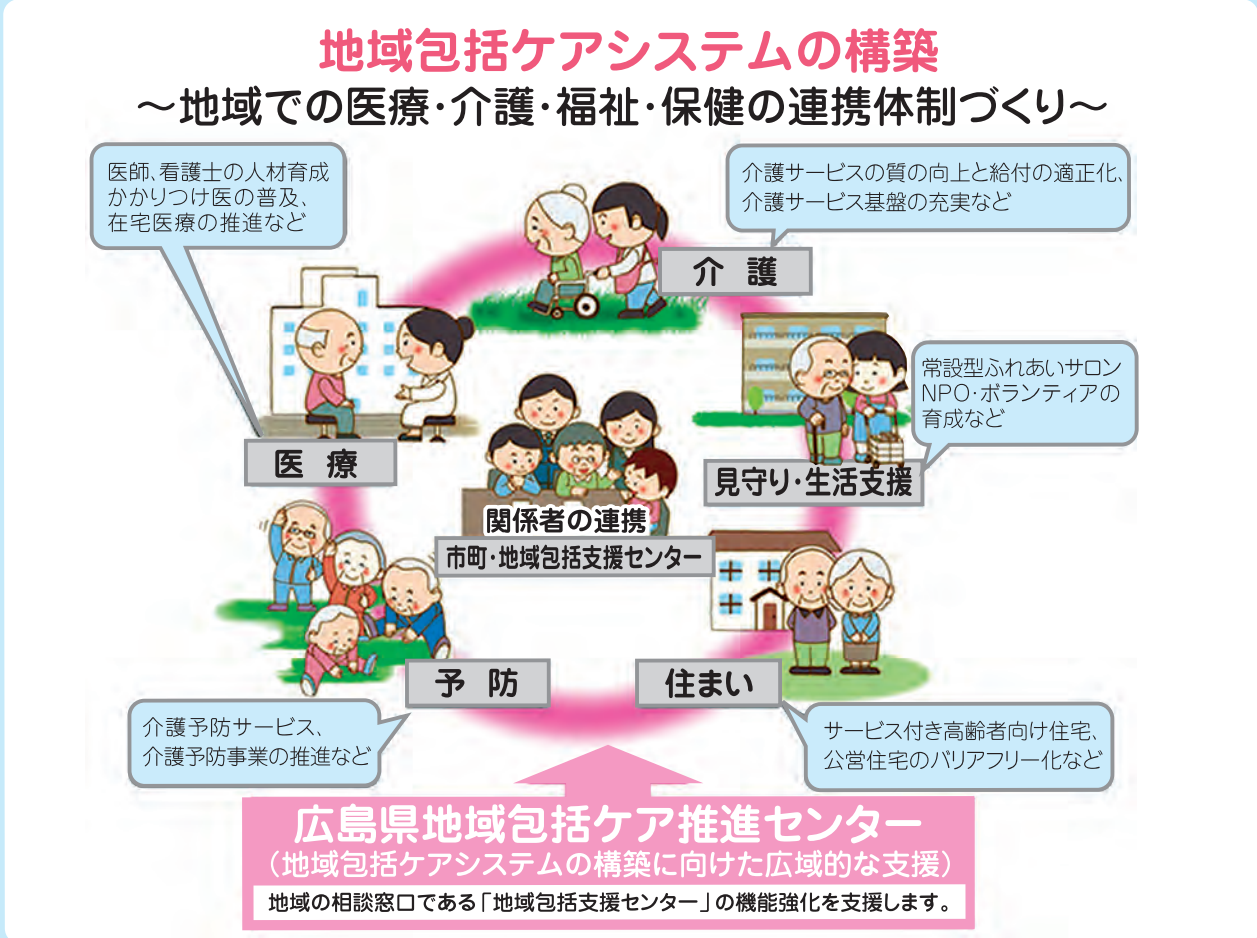
ご本人、ご家族と退院後の生活イメージを常に共有しながら、在宅生活への準備を行う支援を、病院と在宅チームの協働で行うことが重要です。

落久保外科循環器クリニックの落久保先生より、
 広島市西区医師会を中心に平成25・26年度に取り
 組む、「**西区あんしんネット**」の6事業計画につい
 てご報告をいただきました。
 福島生協病院もこの活動に参加させていただきます。



西区あんしんネットとは

1. 在宅医療の推進のため、西区内に“顔の見える”医療と介護ネットワークを構築します。
2. 在宅医療に関する相談窓口を設置し、在宅医療推進の連携力を高めます。
3. 24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築を推進するため、後方支援病院として西区内13病院とのバックアップ連携協力を目指します。
4. ICTを活用した在宅医療介護連携を進めるための情報共有体制を構築します。
5. 災害発生時に備えた在宅医療体制づくりに着手します。
6. 地域住民への啓発・普及活動を旺盛に展開します。



2015年9月オープン予定の新・福島生協病院の3つの魅力 その1である「**医療と介護地域連携の要に**」がまさしくこの「**西区あんしんネット**」へ繋がる活動です。広島市西区にお住まいの皆様が、住み慣れた地域で安心して生活することを支えるため、在宅医療や介護サービスを必要とする時に、円滑にその利用が進むよう、“顔の見える”医療と介護のネットワークづくりに取り組んでまいります。

「もしもプロジェクト」でみんなの病院をつくろう

新病院建設委員会事務局 堂垣内 美穂

昨年12月2日から始まった新病院建設予定地建物の解体工事が終わりました。病院にかかわる人たちが参加して、新病院の3つの魅力を実現するために、「もしも組合員38,000人の英知を新病院に活かしたらプロジェクト(略して『もしもPJ』)」を立ち上げ、「新病院リーフレット」や外観に思いを反映してきました。もしもPJも、2月1日に7回目を行ないました。今回のテーマは「みんなでデザインする新病院」。組合員と職員59名が参加し、エントランスや病室、霊安室の、壁紙と床の色をデザインしました。多彩な意見がでましたが、共通するのは温かく居心地の良い病院。新病院では霊安室が7階で窓があるなど、これまでのイメージとはまったく違うため、ステンドグラスや温かい壁紙の色など、帰宅するまでのひとときを大切にしたい気持ちが、みなさんの想像力をふくらませたようです。4月初旬には、予定通り地鎮祭を迎えます。次回「もしもPJ」のテーマは、売店やレストラン。新病院建設は職員や組合員のみなさんが参加して、夢を形にしていくな大プロジェクトです。



▲もしもプロジェクトのひとつこま



▲現地写真(3月5日現在)

外来診療の変更について

2014年4月より、外来診療を以下のとおり変更させていただきます。よろしくお願いいたします。

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	大津	神尾	高岡	神尾	琴崎 (神経内科)	(大学)
	2診	楠本	多比良	飯田	大津	飯田	(交替)
	3診	石原	濱本	石原	楠本	楠本	(交替)
	4診	×	×	×	×	濱本	×
	健診	伊藤	山本	山本	石原	伊藤	石田/佐倉
午後	3診	×	×	×	×	高岡 (ハースメーカー)	×

※金曜日午前の神経内科外来、金曜日午後のペースメーカー外来は、事前に予約が必要です。

■泌尿器科

	月	火	水	木	金	土
午前	×	梶原	×	亭島	×	(交替)

※火曜日の診療を再開させていただきます。

●基本理念●

私たちは、患者さんの立場に立った医療を実践します。

基本方針

1. インフォームド・コンセント(説明と意思決定)を重視し、信頼される医療を提供します。
2. 教育・研修活動をすすめ、医療、看護、接遇の向上につとめます。
3. 地域の人々とともに、医療、福祉、介護のネットワークづくりをすすめます。

編集後記

●私の大好きな季節がやってまいりました。昨年はお花見に行くことができなかったのですが、今年こそは行けるといいなと思っています。また毎年、新入職員を迎えると懐かしさとともにより一層しっかりとなくてはと身の引き締まる思いです。

新病院建設では、建設予定地の解体工事も終了し、いよいよ本体工事が始まります。職員、組合員さん一丸となって新病院建設成功に向けて頑張っていきましょう。(T)

